

あいち農産物生産流通レポート

平成 2 1 年 3 月号

情報サロン		
・ 県産農産物学校給食導入促進交流会を開催しました	-----	1
	(食育推進課)	
地域トピックス		
・ 新城菜の花まつりが開催されます	-----	2
	(新城設楽農林水産事務所)	
東日本情報		
・ 国内素材を活用した総菜事業の展開	-----	3
	(東京事務所)	
西日本情報		
・ 平成 2 0 年度 第 2 回卸売市場活性化実務講座 について	-----	5
	(食育推進課)	
フラワーページ		
・ 花の王国あいち推進事業の実施について	-----	7
	(園芸農産課)	
青 果		
・ 愛知産青果物の動向 (名古屋・東京市場)	-----	8
・ 名古屋・東京市場における青果物の 3 月の見通し	-----	9
花 き		
・ 切花・鉢花の 3 月の見通し (県内市場)	-----	1 5
輸出入		
・ 主要農産物の輸出入実績 (2 0 0 8 年 1 2 月)	-----	1 9
関連指数	-----	2 0

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

県産農産物学校給食導入促進交流会を開催しました

学校給食への県産農産物導入を一層促進するため、平成21年2月5日、愛知芸術文化センターに県内の学校給食関係者を一堂に集めて、県産農産物学校給食導入促進交流会を開催しました。

- プログラム -

講演

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会会長 林 紫 先生を講師に迎え、「地産地消の取組から考える県産・地元産農産物を取り入れた学校給食について」というテーマで、地場産物を活用した献立の狙い、食育体験活動の取組などについて講演していただきました。



講師 林 紫 先生

事例発表

県内7地域の学校給食に関する特徴的な取組について、市町の給食関係者や農林水産事務所の担当者から発表していただきました。

愛知県農業協同組合中央会の担当の方より、「JAグループ愛知の学校給食の取り組みについて、発表していただきました。



質疑応答・意見交換

質疑応答・意見交換

質疑応答・意見交換では、「地元で農家が少なく、農業従事者の高齢化が進んでいる。今は実験的に児童・生徒のためということでかなり安い値段で農産物等を入れてもらっているが、このままでは農家がやっていけない。そうなると市町村が補助金を出すことも考えなければならない。補助している市町村はどのく

らい予算を計上しているのか」、「給食に新メニューを導入するときは、どういうメンバーで検討しているのか」、「地産地消に取り組んでいくと、やはり価格が問題になる。価格はどのように決めているのか」など、発表者に対して多くの質問があり、また、会場の方々からも活発な意見が出されました。

今回の交流会で、出席者の方には給食に県産農産物を導入する意義を理解していただき、導入促進のための問題解決の一助としていただけたのではないかと考えています。

新城菜の花まつりが開催されます

新城市では、耕作放棄地解消対策や環境・景観保全対策として、市内各地で菜の花の栽培が行われています。こうした中、市内各地の菜の花栽培者の集まりとして、「農村輝きネット・新城」、「富岡で農業を楽しむ会」、「SWRしんしろ（新城市南部で地域の活性化に取り組む団体）」が中心となって、「新城菜の花ネット」が平成17年に設立され、新規栽培者の募集や地域興しのイベント開催に取り組んできました。



昨年の菜の花まつりの様子

本年も、新城菜の花ネットの主催による新城菜の花まつりが、3月7日（土）8日（日）に上平井地区で開催されることになりましたので、ご案内します。

新城菜の花まつりでは、無料の菜の花摘み、もちつき大会（菜の花餅、草餅）新鮮地元野菜の販売などが行われ、併せて景観保全の取組や菜の花エコプロジェクトのPRを行います。

新城菜の花まつりの概要

日 時 平成21年3月7日(土)、8日(日)の午前10時30分から午後3時頃まで

場 所 新城市上平井地区（国道151号バイパス上平井信号の北側）

内 容 無料菜の花摘み、もちつき大会（菜の花餅、草餅）、風船あそび、地元野菜販売、五平餅販売、地元加工品販売など

なお、菜の花まつりに先立つ2月25日（水）新城菜の花ネットの会員による菜の花キャラバンが、菜の花の花束と廃油石けんを持って地元の保育園を訪問し、菜の花まつりと菜の花エコプロジェクトのPRを行いました。



菜の花キャラバンで園児にPR

国内素材を活用した総菜事業の展開

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

野菜の消費は、単身世帯の増加などにより、食の簡便化志向が高まる中、家庭での調理から外食、総菜、持ち帰り弁当などへの「食の外部化」が進展している。このため、産地サイドとして、従来の家計消費を前提とした出荷対応から業務・加工向けを視野に入れた新たな対応へシフトする必要性が高まっている。

平成21年2月19日（木）在京流通行政連絡会など3団体合同が主催した講演会で「国内素材を活用した総菜事業の展開について」と題して株式会社ロック・フィールド田中秀幸部長（購買部）の講演があり、野菜産地の今後の方向の一つと考えられたので紹介する。

1 株式会社ロックフィールドの概要



現在、デパ地下などで、R F 1（アール・エフ・ワン）、神戸コロッケ、VEGETERIA（ベジテリア）などのブランドで全国展開しており、昨年4月末現在8ブランド、307店舗469億円を売り上げている。そのうち売り上げの7割はR F 1が占めている。百貨店を中心に店舗展開をしており、消費者の嗜好が変化しやすい総菜の素材に重きをおいている。

平成11年、カレーの製造工程で、汚水を誤って流してしまった不祥事を教訓に健康・安全・安心への取組を強化しており、食材については8割を国内産でまかなっている。

2 株式会社ロックフィールドの取組

・ サラダに特化

サラダに特化し、素材探求や新たな商品の開発などの挑戦を続けてきた。その結果、平成10年に91億円であったサラダの売り上げが、10年後の平成20年には、196億円へと着実に増加している。

・ 原材料へのこだわり

使う野菜は市場から仕入れるものもあるが、4割ぐらいが生産者や農業法人との直接契約によるものである。土物、重量野菜に至っては6割強がこうした契約によるものである。

・ 新たな挑戦

現在、外食から中食へ移行する流れとなっており、総菜事業は大きなチャンスである。

おいしいごはんが炊ける炊飯器など高価な調理器具は売れており、こうしたおいしさを求めるお客のニーズに挑戦している。

サラダは見た目が大切であり、売り場での美しさだけでなく、家庭に持ち帰ったときの見た目の美しさを考えて結果、サラダをケーキのようにセロハンでラップした「パサラ」を考案した。

シンプルなタマネギサラダ（刻んでドレッシングをかけただけのもの）でも特別な原料を使用し、おいしいものを提供している。野菜のおいしい時期（旬）を商品開発の前提に季節（旬）を大切にしていきたい。そして、固定観念で否定的にならずに新たな発想でサラダを変えていきたい。

また、素材に鮮度、品質などの「チカラ」も追求していきたい。

3 青果物を加工するにあたって生産サイドへ求めるもの

- ・ 荷姿について

パッケージや結束などの調製は、量販対応の荷姿になっていると思うが、加工時に開封するのに時間を要する。また、資材はゴミになるので処理にもお金がかかるので、コンテナで納めていただいている。調製時間が短縮されるので、生産者にもメリットがあると考えている。レタスなどでは一列並べが良いが重ねる場合は下段が傷んで歩留まりが悪くなるので、クッション（緩衝材）を敷くなどもう少し加工する立場になって、荷姿、規格を考えて欲しい。

- ・ 規格外品を流通させる新たなしくみの構築

市場で相手にされない規格外品でも、我々加工業者からすると使用できるものが沢山ある。いちごなどの下位等級品はバラ詰め出荷してもらっており、ジュースとしてお客に提供している。こうした掘り出し物は、産地へ行かなくては発見できないものであり、産地や生産者と一緒になって素材の価値を高めていきたい。

- ・ 安全・安心（トレーサビリティ）への取組について

安全・安心を売りに新たな顧客の獲得につなげたい。契約している北海道端野町のジャガイモ生産者には、普通収穫する前に茎葉を枯らす薬剤を使用するところを、使わない方法で栽培してもらっている。

4 まとめ

景気低迷により消費が落ち込んでいる。当社でも売り上げが減少する中、オーガニック野菜を使用した総菜は比較的高単価にもかかわらず、前年同月比130%を超えている。この商品の様に決して安くはないが、消費者ニーズに合ったものであればどのような時代でも良い結果をもたらしてくれると考えている。また、お客のライフスタイルが変化している中、私たちは生産者と一緒に価値を見出していきたい。そのためには、産地にもロットの大きさではなく、この変化を一緒になって考えてもらい、荷姿の変更や格外流通など生産者と共有できる「いいこと」を進めていき、信頼関係を築いていきたい。また、後継者問題など生産者が抱える課題を一緒に解決することで、パートナーとしての信頼関係より強固なものになり、この関係が安全・安心につながると考えている。

平成20年度 第2回卸売市場活性化実務講座について

今年度、第2回目の講座を2月10日に農業共済会館で開催しました。

講座では、食育推進課によるJAS法に基づく食品の表示に関する講義の後に、愛知大学経営学部准教授二村真理子氏から、「市場環境の変化と物流改革 物流からSCMへ」と題する講演をしていただきましたので、紹介します。

1 物流からロジスティクスへ

物流の機能は、「輸送」「保管」「荷役」「包装」「流通加工」「在庫管理」「情報処理」の7つである。物流の効率化は機械化や省力化に主眼が置かれていたが限界がある。このためロジスティクス(在庫の最小化、トータルコストの最小化)の概念が生まれた。

ロジスティクスの特徴

成果を重視

- ・コストはサービスレベルに対して最小化する。
- ・物流コストは上がる可能性もある。

情報を駆使して、在庫を最小化する。

サッポロビールの物流改革の事例

新たな流通経路(量販店、コンビニ)の発生と既存酒店の返品増加により商品供給問題(欠品と在庫の増加)と銘柄等の増加による物流コスト上昇。

(原因)

各支社の工場で生産数量を決定
(生産数量が過大となる)

(対策)

生産数量を本社ロジスティクス部が決定し、各支社の工場に指示

(効果)

在庫の偏在解消と支払い物流費が減少



講演する二村氏

2 ロジスティクスからSCM(サプライチェーン・マネジメント)

1 企業内での効率化には限界があるため、流通チャネル全体の利益を最大化することを目標とし、企業間で連携するSCMへ。

SCMにより、実需にあわせた在庫保有による在庫の最小化と消費者ニーズにあった商品開発が可能。

従来は、メーカーが主導であったが、近年は、流通大手企業が主導。

流通大手主導のSCMの事例

- ・「TOPVALU グリーンアイ」(イオン)
- ・「顔が見える食品。」(イトーヨーカドー)
- ・「e-price」、「素材主義」(アピタ・ユニーグループ)

3 流通大手による新たな流通経路の開発と卸売市場への影響

イオンの鮮魚の直接買い付け(イオンと島根漁協の直接取引)

- ・漁業者サイド

(現状)

漁獲量の減少

燃料高騰

安価な市場価格

(取引メリット)

価格の交渉(経費の織り込み)

収入の増加

- ・イオンサイド

(メリット)

安価な仕入れ

新鮮な魚の仕入れ

- ・直接取引の考察

イオンと漁協ともに便益を得た

大規模な直接取引ができるのは一定規模の事業者のみ

イオンの取引も月に1回か2回(大半は今後も市場に依存)

毎日では取引費用が高く、魚種をそろえられない



受講状況

(デメリット)

網単位の購入のため、通常販売しない

魚があり、大きさも不揃い

4 卸売市場の今後・・・

- ・流通大手主導のSCMの視点から

新たな流通経路の開発で、物量は減少する可能性が大きい

今後の高齢化社会の中では、中小小売事業者の存在は重要

今後とも卸売市場が支えることとなる

- ・卸売市場の今後の対応

消費者ニーズに応える卸売市場の整備

物流施設としての機能の充実(施設改善に対する補助が必要)

川上団体(農協・漁協)や川下団体(小売等)との連携

緩やかなSCMの形成と情報を共有し、消費者ニーズに対応した青果物を供給することにより、市場は活性化できる

花の王国あいち推進事業の実施について

園芸農産課

今年度、愛知県、愛知県花き温室園芸組合連合会及び愛知県経済農業協同組合連合会の3団体は、実行委員会を立ち上げ、愛知県の花の生産振興と消費拡大を目的とした新規事業『花の王国あいち推進事業』に取り組みました。

1 事業内容

- (1) 花に込めたメッセージ募集
- (2) 地域における花育教室の開催
- (3) あいちの花50年パネル作成



メッセージ応募用紙

2 実施した事業報告

(1) 花に込めたメッセージ募集

花を贈るときに伝えたい気持ちを表現したメッセージを公募しました。

優秀作品50点については、ご応募いただいたメッセージとともに、愛知県の花をメッセージの相手にプレゼントしました。

ア 応募資格

愛知県内に在住、在学、在勤の方

イ 応募期間

平成20年7月15日(火)～9月10日(水)

ウ 応募総数

890点(一般181点、学生657点、不明52点)

エ 優秀作品

50点(一般31点、学生19点)



優秀作品の一例

(2) 地域における花育教室の開催

県内の小中学生を対象に、花育教室を開催しました。

「花育」は、花と緑を楽しむことができる健全かつ多様で豊かな心を培う教育活動とされています。

開催地域	開催時期	対象	活動内容
海部地域	10月	中学校1校 37名参加	県内花き生産や花育について講義 生産者によるアレンジ教室
田原地域	11月	小学校4校 153名参加	地域で生産されている花の講義 フラワーアレンジメント講師によるアレンジ教室

< 花育教室開催模様 >



(3) あいちの花50年パネル作成

花の生産日本一を振り返る、「あいちの花のパネル50年」を作成し、花のPRに役立てました。このパネルはA1サイズ10枚セットで、希望があれば各種イベント等に役立てていただくため貸し出しにも応じます。

(問い合わせ先：農林水産部園芸農産課 花きグループ 052 - 954 - 6419)

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中心卸売市場(品目:ふき)

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	うち愛知産		
20年実績	160	154 (96%)	275	272	岐阜 (3%) 徳島 (1%)
21年見通し	180	-	270	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>促成ものが出始める時期であるが、夏場の高温、集中豪雨の影響で、やや遅れ気味である。また、土壌にも影響があり、茎が細いものや短いものも散見される。 入荷量は、少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>品種は伝統的に愛知早生だが、改良型が出てきている。 ふきは、年々消費が減少しているが、特に青果のふきは、調理の煩わしさを敬遠される傾向がある。対面販売で調理の仕方を伝えたり、試食で美味しさをアピールするなどして若年層の関心を高めてほしい。</p>		

東京都中央卸売市場(品目:ふき)

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	うち愛知産		
20年実績	367	334 (91%)	299	300	群馬 (8%) 茨城 (1%) 静岡 (0%)
21年見通し	400	-	300	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の入荷が大部分を占める。2月から促成ものに切り替わり3月は入荷が本格化する。現状、品質については問題ないが入荷が増えても消費が鈍く販売が苦戦している。今後、量販店では春商材の特売が増えるので消費の向上に期待したい。 入荷量は、少なかった前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。</p>			<p>本県産のふきは、春商材として、業務だけでなく量販店からの需要もある。調理済みの惣菜を購入する消費者も多いが、家庭での調理方法のPRも重要となる。 促成ふきは柔らかく傷みやとろけが出やすいので、出荷にあたっては切り口の処理など品質保持には特に注意して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋中央卸売市場

2月18日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
野菜	16年	38,914	205	199	213	愛知 29%
	17年	38,545	205	210	206	北海道 20%
	18年	37,491	193	188	199	鹿児島 9%
	19年	37,885	192	181	189	茨城 5%
	20年	34,903	209	220	208	
計	5ヵ年平均	37,548	201	-	-	
	21年見通し	35,000	200	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>地元愛知と土物類を中心とした北海道を主力に入荷する。作型が冬系から春系に切り替わる品目もあるが、移行は概ね順調で、全体的に安定した入荷となるであろう。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>				
だいこん	16年	2,422	115	103	116	千葉 39%
	17年	2,201	96	89	102	徳島 17%
	18年	1,961	110	106	109	静岡 16%
	19年	1,919	79	55	73	鹿児島 10%
	20年	1,509	91	102	85	(愛知産比率 9%)
計	5ヵ年平均	2,002	99	91	97	
	21年見通し	1,700	90	90	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島、静岡中心の入荷から、千葉中心に移行する。千葉の生育は良好。入荷が少なかった前年とは異なり、安定して推移するであろう。</p> <p>入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。</p>				
にんじん	16年	2,326	98	75	110	愛知 64%
	17年	2,565	176	188	170	徳島 24%
	18年	2,274	136	121	139	鹿児島 10%
	19年	2,677	73	59	79	中国 1%
	20年	2,087	169	160	170	
計	5ヵ年平均	2,386	129	121	134	
	20年見通し	2,200	130	100	130	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、徳島、鹿児島から入荷する。愛知、鹿児島は終了に向かい、かわって徳島からの入荷が始まる。愛知は2月の残量が多く、入荷が集中する可能性もある。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>				

東京都中央卸売市場

2月20日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
野菜	16年	130,976	236	221	243	千葉 16%
	17年	129,688	235	244	233	北海道 13%
	18年	131,816	222	222	222	愛知 11%
	19年	131,085	222	206	218	茨城 11%
	20年	130,238	238	250	238	(愛知産比率 11%)
計	5ヵ年平均	130,971	231	-	-	
	21年見通し	131,000	210	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。2月に入り好天と適度な降雨で各産地とも生育は概ね順調で品質も良好である。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>				
だいこん	16年	11,992	107	97	109	神奈川 59%
	17年	12,593	91	95	91	千葉 39%
	18年	12,698	104	115	94	静岡 1%
	19年	12,056	68	52	56	
	20年	12,123	86	103	80	(愛知産比率 0%)
計	5ヵ年平均	12,292	91	92	86	
	21年見通し	12,400	80	80	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き関東産地からの入荷がほとんどを占める。神奈川の生育は良好である。収穫はピークを迎え順調な入荷が見込まれる。千葉の生育はやや早く推移している。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>				
にんじん	16年	8,135	92	73	97	千葉 53%
	17年	7,169	171	188	155	徳島 21%
	18年	7,503	146	141	153	埼玉 10%
	19年	8,554	77	73	74	茨城 5%
	20年	6,830	189	189	188	(愛知産比率 1%)
計	5ヵ年平均	7,638	131	133	134	
	21年見通し	7,000	130	110	130	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き千葉を中心とした関東産地からの入荷が多く、徳島からの入荷も始まる。千葉の生育は順調で肥大も良好である。徳島は播種後に適度な降雨もあり生育は順調である。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>				

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
はくさい	16年	2,342	119	117	124	117	愛知 31% 長崎 27% 長野 14% 兵庫 13%
	17年	2,296	88	85	91	87	
	18年	2,356	72	70	75	72	
	19年	2,411	77	61	79	90	
	20年	2,074	112	114	118	106	
	5ヵ年平均	2,296	93	89	97	94	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	2,100	100	110	100	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、長崎、兵庫を中心に入荷する。愛知は前年並み。兵庫の冷蔵ものは終盤で、例年より少なめ。中旬からは、長崎の春はくさいの入荷が本格化する。入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	3,613	83	75	96	76	愛知 96% 兵庫 3% 鹿児島 1%
	17年	3,356	124	136	134	107	
	18年	4,343	64	61	68	63	
	19年	4,088	66	53	69	76	
	20年	3,928	93	108	98	79	
	5ヵ年平均	3,865	84	87	93	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	4,000	80	80	80	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を主体に、一部兵庫からも入荷する。冬キャベツは小玉傾向だったが、2月の好天で回復し、3月は順調に推移するであろう。入荷量は前年並みだが、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	450	398	465	453	312	愛知 94% 徳島 2% 群馬 1%
	17年	547	272	334	264	224	
	18年	556	225	192	200	289	
	19年	423	338	234	469	404	
	20年	532	218	332	159	173	
	5ヵ年平均	502	284	311	309	280	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	500	260	240	260	280		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほぼ愛知からの入荷。冬ほうれんそうはほぼ終了し、春系がスタートする。作型の切り替わりのため、数量は多くないが、安定した入荷で推移するであろう。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
はくさい	16年	7,767	107	100	99	127	茨城 50% 兵庫 27% 群馬 11% 埼玉 6% (愛知産比率 1%)
	17年	8,663	80	81	73	85	
	18年	8,294	68	60	67	81	
	19年	7,334	58	36	73	80	
	20年	6,891	111	103	114	121	
	5ヵ年平均	7,790	84	76	85	99	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	6,700	90	80	90	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城が入荷の中心となり、兵庫、群馬がそれに続く。茨城の生育は一部で軟腐病が発生しておりやや不良か。兵庫は終盤を迎え徐々に少なくなる。群馬の生育は順調である。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	15,639	96	82	110	95	愛知 72% 神奈川 14% 千葉 10% 茨城 1% (愛知産比率 72%)
	17年	13,856	138	150	148	121	
	18年	16,318	79	73	82	81	
	19年	15,468	79	64	82	92	
	20年	15,244	104	116	108	92	
	5ヵ年平均	15,305	98	97	106	96	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	15,000	85	85	85	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き愛知と神奈川からの入荷が中心となる。愛知の生育は気温も高く順調で肥大も良好。神奈川は早春キャベツが終盤となり春キャベツとの切り替わり時期。春キャベツの生育は前進傾向。入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	1,654	480	461	529	455	埼玉 28% 茨城 24% 千葉 21% 群馬 18% (愛知産比率 0%)
	17年	1,977	318	362	286	304	
	18年	1,988	271	208	282	336	
	19年	1,611	424	344	507	461	
	20年	1,912	289	322	260	283	
	5ヵ年平均	1,828	350	339	373	368	前年及び本年の入荷量・価格の動き
21年見通し	1,850	300	280	300	300		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷がほとんどを占める。埼玉の生育は低温、干ばつの影響が懸念されるが概ね順調。茨城の生育も概ね順調。千葉の生育は順調で病害虫の発生もなく品質も良好。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

「ねぎ」の数値には「こねぎ」を含む。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	917	319	325	310	愛知 28%	
	17年	995	283	279	281	大分 14%	
	18年	853	269	289	257	静岡 13%	
	19年	981	235	227	241	埼玉 10%	
	20年	889	446	463	448		
	5ヵ年平均	927	309	317	307		
21年見通し	900	270	300	270	250	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に、大分、静岡、群馬などから入荷する。愛知は長ねぎで平年並みの作柄。大分、静岡は白ねぎ。静岡は多めである。 入荷量は前年並みだが、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
レタ	16年	1,760	225	213	242	217	茨城 40%
	17年	1,736	225	242	221	215	兵庫 36%
	18年	2,205	154	169	151	143	熊本 7%
	19年	1,755	239	184	249	295	静岡 5%
	20年	1,897	194	253	197	151	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	1,870	205	212	212	204	
21年見通し	1,900	180	200	180	160	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫、茨城を主力に熊本、愛知から入荷する。愛知、静岡は終了に向かう。中旬には茨城からの入荷が始まり、徐々に関東産地に切り替わるであろう。順調に移行する見込みで、入荷も安定的。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
きゅう	16年	1,848	235	274	221	217	愛知 48%
	17年	1,698	263	314	241	236	高知 20%
	18年	1,442	340	491	314	257	宮崎 16%
	19年	1,687	256	289	262	224	群馬 7%
	20年	1,580	259	271	267	242	
	5ヵ年平均	1,651	268	328	261	235	
21年見通し	1,600	260	270	260	250	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を主力に高知、宮崎、群馬、鹿児島から入荷する。日照量が増え、気温も上昇することから、各産地とも生育は順調に移行するであろう。宮崎は抑制ものから促成ものに切り替わる。 入荷量、価格ともに、前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	4,766	269	262	244	301	千葉 49%
	17年	5,019	230	254	220	214	埼玉 32%
	18年	4,723	232	271	216	210	茨城 7%
	19年	4,904	161	143	153	190	栃木 3%
	20年	4,320	381	373	382	388	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,746	251	261	243	261	
21年見通し	4,500	180	160	180	180	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は一部に病害が散見されるも概ね順調。埼玉も一部で病害が見られるが生育は概ね順調である。茨城の生育も気温が高めに推移し順調である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
レタ	16年	7,288	218	206	233	214	茨城 40%
	17年	7,167	221	240	220	206	静岡 15%
	18年	8,475	145	157	144	134	香川 14%
	19年	7,106	214	168	213	271	兵庫 7%
	20年	8,231	179	235	178	132	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	7,653	193	201	198	191	
21年見通し	8,100	170	150	170	170	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、香川に代わり、茨城からの入荷も本格化してくる。茨城の生育は概ね順調で品・肥大も良好である。静岡の生育も概ね順調。香川は小玉傾向で、干ばつ低温の影響で作柄も良くない。 全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
きゅう	16年	6,664	257	297	230	249	千葉 23%
	17年	6,498	272	337	241	241	群馬 21%
	18年	6,052	362	556	304	276	埼玉 20%
	19年	6,714	265	285	277	237	茨城 14%
	20年	6,530	273	282	274	265	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,492	284	351	265	254	
21年見通し	6,300	270	270	280	270	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が切り上がり、関東産地からの入荷が中心となる。千葉は生育、品質とも概ね順調である。群馬も生育順調。埼玉の生育も天候が安定し順調である。 入荷量は前年をやや下回り、価格も前年並の見込み。</p>					

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	16年	978	285	271	285	熊本 48%	
	17年	830	311	339	307	愛知 48%	
	18年	781	318	350	322	高知 3%	
	19年	953	292	296	286	鹿児島 2%	
	20年	845	318	325	319		
	5ヵ年平均	877	304	316	304		
	21年見通し	850	300	320	280	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を主体に、一部鹿児島、高知から入荷する。愛知は干荷、熊本は長なす。需要が増加する時期となり、入荷も2月の倍近くになるであろう。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
トマト	16年	1,148	374	345	389	385	熊本 39%
	17年	1,213	321	299	317	347	愛知 38%
	18年	1,143	354	339	355	366	三重 14%
	19年	1,142	414	408	397	437	岐阜 8%
	20年	1,191	329	312	322	347	
	5ヵ年平均	1,149	371	340	356	376	
	21年見通し	1,200	330	300	330	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に、三重、岐阜などから入荷する。各産地とも病害虫の発生もなく、生育は順調で、平年並みの作柄である。入荷も安定的。入荷量、価格ともに前年並みだが、平年よりかなり安値となる見込み。</p>					
ミニトマト	16年	229	663	725	685	603	熊本 48%
	17年	251	641	676	615	635	愛知 40%
	18年	229	680	740	668	637	和歌山 11%
	19年	235	779	767	768	799	宮崎 0%
	20年	248	680	673	704	668	
	5ヵ年平均	239	688	716	688	668	
	21年見通し	240	680	680	680	680	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を主体に、一部和歌山からも入荷する。生育がやや遅れ気味のため上旬はやや不安定だが、下旬には回復する見込みで、月全体では例年並みの入荷であろう。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	16年	3,816	342	321	353	350	高知 54%
	17年	3,354	379	418	391	343	福岡 22%
	18年	3,266	372	388	374	357	佐賀 6%
	19年	3,767	339	364	337	320	熊本 5%
	20年	3,299	370	383	396	343	(愛知産比率 - %)
	5ヵ年平均	3,500	359	375	370	343	
	21年見通し	3,400	320	340	320	320	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き西南暖地からの入荷が中心となる。高知は周期的に天候が変わり、気温も高めで生育は順調。福岡も生育は順調に推移している。佐賀は細果の発生が見られ、樹勢がやや弱い。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
トマト	16年	6,063	399	363	414	416	熊本 27%
	17年	6,160	353	338	348	368	栃木 18%
	18年	5,784	381	370	385	388	愛知 11%
	19年	5,852	445	440	414	476	茨城 6%
	20年	6,065	365	344	363	385	(愛知産比率 11%)
	5ヵ年平均	5,985	388	371	385	407	
	21年見通し	6,000	350	350	360	350	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。熊本は概ね順調だが、樹勢の低下が散見される。栃木は生育順調だが、着色が1週間程度遅れている。愛知の生育も概ね順調。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ミニトマト	16年	913	641	719	671	561	熊本 31%
	17年	939	587	638	565	563	愛知 30%
	18年	967	635	721	616	584	千葉 10%
	19年	956	750	763	741	744	宮崎 9%
	20年	918	668	649	681	673	(愛知産比率 30%)
	5ヵ年平均	939	656	698	655	625	
	21年見通し	900	680	680	680	680	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き愛知、熊本からの入荷が中心となる。熊本の生育は概ね順調である。愛知の生育も概ね順調で、順次入荷が増えてくる見込み。全体の入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込み。</p>					

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	739	370	410	394	318	宮崎 41% 鹿児島 37% 高知 22% (愛知産比率 0%)
	17年	609	545	718	566	433	
	18年	492	657	688	698	600	
	19年	586	539	588	562	480	
	20年	590	496	542	479	426	
マン	5カ年平均	603	510	589	540	451	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	20年見通し	580	500	550	500	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、鹿児島、高知の促成ものを中心に入荷する。各産地とも作付面積が減少しているものの、花つき、着果は良好で入荷は安定的であろう。 入荷量、価格ともに、前年並みの見込み。</p>					
ばいしよ	16年	4,341	164	174	172	149	鹿児島 55% 北海道 44% 青森 1% (愛知産比率 0%)
	17年	3,790	146	131	148	161	
	18年	4,350	134	108	156	152	
	19年	3,349	143	135	142	152	
	20年	3,753	118	114	113	129	
いしよ	5カ年平均	3,917	142	132	146	149	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	3,500	140	130	140	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、北海道から入荷する。鹿児島は離島の新たないしよで順調な入荷。北海道は前年産の貯蔵品を計画出荷しており、安定した入荷の見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	16年	6,647	93	99	94	88	北海道 87% 静岡 7% 愛知 4% 中国 1% (愛知産比率 1%)
	17年	6,772	103	102	108	100	
	18年	5,387	100	110	110	86	
	19年	6,328	88	89	88	86	
	20年	5,587	80	77	81	81	
ねぎ	5カ年平均	6,144	93	95	96	88	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	5,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を主体に、静岡、愛知などから入荷する。北海道は計画出荷で安定的。静岡と愛知は新たなたまねぎ。月全体では前年並みで推移するであろう。 入荷量、価格ともに、前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	2,058	399	423	415	363	茨城 40% 宮崎 32% 高知 18% 鹿児島 10% (愛知産比率 -%)
	17年	2,124	567	754	576	436	
	18年	1,608	666	698	715	606	
	19年	2,039	539	583	576	472	
	20年	1,916	518	629	485	463	
マン	5カ年平均	1,899	531	623	555	465	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,850	500	500	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷に加え、茨城からの入荷が増える。茨城は定植が遅れたが生育は概ね順調で品質・肥大とも良好である。西南暖地は比較的気候の良い日が続く、生育は順調に推移している。 入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をやや下回る見込み。</p>					
ばいしよ	16年	7,355	164	158	168	165	北海道 70% 鹿児島 26% 長崎 3% 千葉 1% (愛知産比率 -%)
	17年	8,035	124	117	124	129	
	18年	8,040	126	122	125	132	
	19年	8,750	120	114	118	127	
	20年	9,988	102	101	103	102	
いしよ	5カ年平均	8,434	125	122	128	131	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,500	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は計画出荷の終盤で、入荷量が減少していく。鹿児島は好天に恵まれ生育順調で肥大も良好である。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	16年	11,289	110	106	112	112	北海道 81% 静岡 12% 佐賀 2% 愛知 1% (愛知産比率 1%)
	17年	10,182	127	126	131	125	
	18年	9,861	111	111	112	110	
	19年	11,679	102	104	101	100	
	20年	10,940	95	92	96	98	
ねぎ	5カ年平均	10,790	109	108	110	109	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	11,000	90	95	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心で、静岡からの入荷が増加してくる。北海道は計画出荷の終盤に近づいているが、品質は良好。静岡は高温気味で玉伸び良好で、順調な入荷が見込まれる。 全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果	16年	17,115	295	301	306	282	フィリッソ 17%	
	17年	19,483	285	290	297	272	青森 17%	
	18年	14,742	291	297	302	277	愛媛 13%	
	19年	11,627	373	385	366	366	愛知 10%	
	20年	11,219	321	315	316	333		
	5ヵ年平均	14,837	308	-	-	-		
計	21年見通し	11,000	290	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国産は晩柑類、りんご、いちごなどが中心の入荷となる。晩柑類は大玉で食味も良いが、2月に前進入荷されたため、3月は少なめであろう。全体では、景気低迷のため苦しい相場が予想される。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
りんご	16年	1,972	273	270	272	277	青森 98%	
	17年	2,050	299	291	298	308	長野 2%	
	18年	2,027	252	251	249	254		
	19年	2,251	270	262	268	283		
	20年	1,896	261	262	261	262	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	2,039	271	-	-	-		
計	21年見通し	2,100	230	230	230	230	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森主体で、一部長野から入荷する。品種は「ふじ」を中心に、主林、ジョナゴールドなど。熟度が高くやわらかめのため、食味は良いが、品質維持が難。消費は鈍く、低価格志向は続くであろう。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
いちご	16年	1,908	882	1,055	924	734	愛知 53%	
	17年	1,656	1,095	1,267	1,036	1,006	熊本 22%	
	18年	1,845	901	1,060	885	796	鹿児島 12%	
	19年	1,745	929	1,149	912	757	三重 5%	
	20年	1,686	852	876	840	841		
	5ヵ年平均	1,768	929	-	-	-		
計	21年見通し	1,650	850	850	850	850	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に熊本、鹿児島、三重などから入荷する。生育状況にはらつきが見られるが、品種も多様に展開しており、切れ目なく入荷するであろう。購入価格帯は例年より低い。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年同様に安値の見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量			卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果	16年	43,042	352	357	351	348	愛媛 17%	
	17年	40,690	394	398	385	399	青森 17%	
	18年	41,594	349	353	398	399	フィリッソ 9%	
	19年	37,045	420	436	412	410	静岡 8%	
	20年	38,945	349	343	349	356	(愛知産比率 1%)	
	5ヵ年平均	40,263	373	-	-	-		
計	21年見通し	39,000	345	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、中晩柑、いちご中心に入荷する。「不知火」は、露地物に切り替わる。結果樹面積が増加しているが、裏年に当たり前年並みと見込まれる。総入荷量は前年並と見込まれ、価格も前年並と見込まれる。</p>						
りんご	16年	6,322	264	265	267	260	栃木 30%	
	17年	6,333	282	278	284	284	福岡 19%	
	18年	6,760	236	232	238	237	佐賀 16%	
	19年	7,696	262	256	263	268	茨城 11%	
	20年	6,705	258	257	261	257	(愛知産比率 4%)	
	5ヵ年平均	6,763	260	-	-	-		
計	21年見通し	7,500	200	200	200	200	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森中心に「ふじ」が入荷する。市況をみながらの出荷となるが、貯蔵量は例年より多く、露害の影響から下位等級品が多い。前月と同様、入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回ると見込まれる。</p>						
いちご	16年	6,489	940	1,138	922	810	栃木 28%	
	17年	5,891	1,178	1,337	1,122	1,091	佐賀 18%	
	18年	6,760	984	1,141	987	872	福岡 17%	
	19年	6,503	988	1,207	987	810	茨城 11%	
	20年	6,269	923	937	913	918	(愛知産比率 4%)	
	5ヵ年平均	6,382	1,003	-	-	-		
計	21年見通し	6,300	930	950	930	920	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に佐賀、福岡から入荷する。生育は順調で、2番果と3番果は連続しており、山谷のないスムーズな入荷が見込まれる。入荷量は前年並と見込まれ、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>						

切花・鉢花の3月の見通し

切花(地方卸売市場 ヤマエ生花市場 2月24日現在)

2月24日現在)

単位:千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪ぎく	実績	16年	1,038	64		
		17年	1,057	69		
		18年	998	62		
19年		949	59			
20年		994	59			
5ヶ年平均		1,007	63			
21年見通し		1,000	60			
概要		愛知、沖縄中心の入荷。愛知の渥美地区は作付がやや減少しており、白系が少なめとなるであろう。黄系は沖縄を主力に安定した入荷となる。気温高の影響で前進気味に推移しそう。価格は、上中旬は彼岸需要のため堅調だが、下旬はやや鈍い動きとなる見込み。				
小ぎく	実績	16年	1,079	36		
		17年	1,145	30		
		18年	971	32		
19年		902	36			
20年		1,009	32			
5ヶ年平均		1,021	33			
21年見通し		1,020	32			
概要		沖縄中心の入荷。作付は前年より増加しており、全体としては多めの入荷。気温高の影響で前進傾向にあり、3月上旬がピークとなる。色別にみると、白系は入荷が多いため荷動きはやや鈍いが、赤黄系は少ないので、堅調に推移するであろう。				
カーネーション	実績	16年	742	49		
		17年	753	46		
		18年	777	46		
19年		649	55			
20年		790	41			
5ヶ年平均		742	47			
21年見通し		790	43			
概要		愛知を主力に、和歌山、長野などから入荷。各産地とも生育が遅れていたが、気温上昇により回復し、前年並みの入荷となるであろう。彼岸、卒業式などの需要期ではあるが、消費不況により高値の期待はできず、そこそこの荷動きとなるであろう。				
かすみ	実績	16年	180	78		
		17年	163	63		
		18年	178	61		
19年		111	84			
20年		153	54			
5ヶ年平均		157	67			
21年見通し		155	55			
概要		和歌山、熊本、高知などから入荷。各産地とも、気温高の影響により、中旬までは多めだが、下旬は減少に向かう見込み。品種は前月と同様「ビッグミスター」中心。価格は、卒業式、ブライダル等の需要により、堅調に推移するであろう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	16年	208	191	
		17年	174	204	
		18年	196	197	
		19年	164	219	
20年		198	187		
5ヶ年平均	188	199			
21年見通し	200	190			
概要	高知、岐阜、愛知を中心に入荷。てっぼうは安定した入荷が見込まれ、彼岸需要で中旬に動きが活発となる。オリエンタル系は各産地とも遅れ気味であったが、気温上昇に伴い回復し、品種も多様になる。すかしゆりは、入荷が少なめのため、動きはよいであろう。				
洋らん	実績	16年	311	72	
		17年	298	71	
		18年	333	66	
		19年	318	77	
20年		265	83		
5ヶ年平均	305	73			
21年見通し	270	80			
概要	徳島、高知、愛知のほか、輸入ものが入荷する。国内産はコショウラン、カトレア等。生育は順調で前年並みの入荷。輸入ものは、中旬をめどに増加の見込みだが、台湾、タイの気温が低下すると減少か。卒業式、ブライダル需要等で引き合いは強く、価格は堅調。				
ばら	実績	16年	405	82	
		17年	407	79	
		18年	401	86	
		19年	391	83	
20年		374	87		
5ヶ年平均	396	83			
21年見通し	375	85			
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山のほか、輸入ものが入荷。国内産は、気温上昇に伴い入荷が増加するが、前年並み。輸入ものは、1、2月は入荷が少なかったが、3月は回復して前年並みとなるであろう。ブライダル、卒業式等の需要が多く、堅調な取引が予想される。				
枝もの	実績	16年	1,203	38	
		17年	1,161	37	
		18年	1,249	39	
		19年	1,222	40	
20年		1,133	37		
5ヶ年平均	1,194	38			
21年見通し	1,150	36			
概要	静岡、長野、愛知、岐阜などから入荷。上・中旬は、蒸しもの(コデマリ、桜、アカシア)中心で、中旬は彼岸用のシキミ、サカキなど。下旬は、卒業式向けの松、ボタン、桜などを入荷する。需要に合った花材は荷動きも活発だが、稽古用の花材は苦しい展開。				

鉢 花 (愛知豊明花き地方卸売市場 2月6日現在)

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	16年	125,691	223	
		17年	140,232	202	
		18年	108,684	243	
		19年	95,159	231	
		20年	109,679	188	
5ヶ年平均		115,889	216		
21年見通し		100,000	180		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。卒業式等のイベント以外は、前月の動きを見ている限り厳しそうである。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(33%)、2位奈良(15%)、3位三重(14%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	16年	158,433	141	
		17年	155,616	97	
		18年	133,954	117	
		19年	124,529	134	
		20年	124,021	118	
5ヶ年平均		139,311	121		
21年見通し		124,000	110		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。年々品種数も増え、鉢サイズも3~8号と幅広く入荷しそう。世界初の芳香成分が含まれている品種の入荷が目玉になると予想される。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(33%)、2位岐阜(14%)、3位静岡・埼玉(12%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	16年	68,210	832	
		17年	69,612	750	
		18年	69,475	710	
		19年	60,395	763	
		20年	64,144	663	
5ヶ年平均		66,367	744		
21年見通し		64,000	600		
概要	<p>入荷は昨年並みか。主力は4~6号鉢だが、会社需要を狙った7~8号鉢といった大鉢も多く入荷しそうである。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(56%)、2位岡山(13%)、3位高知(9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カ ラ ー	実績	16年	20,482	581	
		17年	20,779	563	
		18年	18,541	553	
		19年	16,275	489	
20年		13,789	551		
5ヶ年平均		17,973	550		
21年見通し		12,000	500		
概要	<p>生産量は減少か。入荷は中旬頃から始まり、手頃な価格帯の3.5～4号鉢が増えそう。5号鉢以上は激減か。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(70%)、2位長野(24%)、3位埼玉(3%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実績	16年	37,265	3,009	
		17年	41,818	2,836	
		18年	41,212	3,009	
		19年	38,908	3,283	
20年		41,043	2,902		
5ヶ年平均		40,049	3,004		
21年見通し		42,000	2,900		
概要	<p>1～2月の開花調整で量が抑えられていたため、今月は全国から大輪系を中心に入荷が増えそう。ミディー系に関してもアマビリス(白)以外の色目のものも豊富にありそう。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(62%)、2位福岡(10%)、3位宮崎(5%)となっている。</p>				
バ ラ (ミ ニ バ ラ)	実績	16年	122,975	243	
		17年	105,607	214	
		18年	100,296	216	
		19年	90,695	221	
20年		97,856	227		
5ヶ年平均		103,486	225		
21年見通し		98,000	200		
概要	<p>入荷量は気候の安定とともに増加の見込み。園芸シーズンの到来となるわけだが、人気の中心は輪の大きい品種と覆色系となりそう。価格は中値～安値となる予想。昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(60%)、2位岐阜(24%)、3位三重(6%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2008年)

1 輸入実績

品名	1 2 月						1 2 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	51,366	94.4	5,321,496	83.1	104	88.0	529,561	83	60,785,636	79	115	95.1
トマト	163	40.4	45,884	24.3	282	60.1	1,976	46	580,418	40	294	85.5
たまねぎ	14,472	83.8	535,248	95.2	37	113.5	184,178	81	6,369,215	70	35	86.7
にんにく	1,699	96.5	165,746	86.2	98	89.3	19,959	91	2,010,004	72	100	79.0
ねぎ	3,191	66.4	259,940	47.9	81	72.1	33,568	68	3,427,413	72	102	105.7
ブロッコリー	1,907	64.7	315,152	65.5	165	101.1	32,353	77	5,624,219	75	174	97.4
結球キャベツ	2,022	672.8	62,338	311.8	31	46.3	5,863	-	212,640	-	36	-
にんじん・かぶ	2,845	97.0	100,272	53.7	35	55.4	43,005	93	2,809,293	123	65	132.2
ごぼう	3,903	109.8	154,939	118.6	40	108.0	44,762	91	2,277,940	101	51	110.7
えんどう	141	46.2	31,749	49.0	225	106.2	999	27	208,315	23	209	86.2
アスパラガス	1,082	98.8	749,908	94.3	693	95.4	10,438	83	6,329,369	83	606	99.9
まつたけ	16	72.6	72,987	109.8	4,431	151.2	1,329	86	6,708,437	77	5,049	96.3
しいたけ	956	68.7	221,791	65.7	232	95.7	4,689	47	1,160,054	44	247	93.4
かぼちゃ	13,994	107.0	1,100,561	94.3	79	88.1	100,380	96	7,665,136	95	76	99.5
果実(生鮮・乾燥)	142,622	115.7	15,242,942	99.9	107	86.4	1,844,921	104	231,633,802	96	125	95.0
バナナ	94,328	142.3	6,321,238	164.6	67	115.6	1,092,738	113	82,870,150	121	76	109.7
パイナップル	10,670	91.9	599,459	90.4	56	98.4	144,408	87	8,917,896	81	62	104.9
レモン	4,211	133.7	519,570	66.1	123	49.4	57,377	94	10,715,126	80	187	89.0
オレンジ	2,743	62.2	308,696	57.3	113	92.1	97,818	114	9,897,632	80	101	73.4
グレープフルーツ	14,265	76.1	1,627,121	74.1	114	97.4	184,022	86	17,082,640	73	93	93.5
メロン	2,114	65.3	243,396	60.8	115	93.1	31,073	118	3,481,448	104	112	88.2
ぶどう	572	169.1	151,335	130.6	265	77.2	6,612	82	1,481,829	76	224	93.0
キウイ	29	93.1	7,176	97.2	250	104.4	59,222	99	19,404,849	102	328	102.9
いちご	24	128.3	25,392	102.8	1,058	80.1	3,278	85	3,321,444	85	1,013	99.9
切花(生鮮・乾燥)	4,109	94.6	3,069,845	83.0	747	87.7	36,119	102	29,100,595	96	806	93.8
鳥獣肉類	144,643	97.9	67,162,208	98.6	464	100.7	1,786,232	107	850,505,928	108	476	100.6
牛肉(くず肉含む)	37,380	80.0	15,493,124	71.3	414	89.2	459,292	97	222,493,383	92	484	95.3
豚肉(くず肉含む)	68,244	107.0	35,867,443	106.7	526	99.7	817,719	108	431,080,061	107	527	99.3
鶏肉	31,593	101.9	11,330,983	144.3	359	141.5	426,092	121	134,564,699	167	316	138.0
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	177,888	96.3	97,152,562	94.3	546	97.9	1,891,259	99	1,109,571,236	100	587	100.4
まぐろ類	16,769	80.1	14,057,887	66.1	838	82.5	212,337	90	207,741,013	97	978	108.8
さば・さんま・あじ・いわし	34,346	124.9	8,315,681	140.1	242	112.2	131,740	122	25,600,749	125	194	102.0

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	5,421	76.9	1,572,096	68.4	290	89.0	33,719	95	10,620,299	94	315	98.3
うんしゅうみかん	123	103.0	33,086	121.8	270	118.2	3,408	75	470,646	82	138	109.0
りんご	4,939	75.1	1,349,416	65.3	273	87.0	25,161	98	7,376,022	92	293	94.4
なし	69	138.4	33,465	125.8	484	90.9	1,521	73	666,657	72	438	98.7
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	551,438	125.2	-	-	-	-	3,945,773	103	-	-
緑茶	174	130.2	324,450	115.6	1,867	88.8	1,701	105	3,344,151	104	1,966	99.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数				
		愛知県 平成17年 = 100				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	18年平均	100.3	105.8	104.0	100.8	102.2
	19年平均	100.3	103.1	109.3	102.7	103.1
	20年10月	102.6	109.5	104.6	107.6	105.7
	11月	101.7	101.8	98.6	107.4	106.2
	12月	101.3	105.8	100.7	106.8	106.0
愛 知 県	18年平均	100.2	103.9	102.5	99.8	103.9
	19年平均	100.5	100.3	111.1	100.7	103.5
	20年10月	102.8	105.9	100.9	105.7	106.5
	11月	102.1	99.7	97.5	105.2	104.7
	12月	101.8	101.4	98.0	104.9	104.7

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
18年平均	18年平均	102.9	97.8	108.2	120.6	99.0
	19年平均	97.6	95.0	100.6	110.1	99.5
	20年 9月	96.3	96.5	99.4	83.0	103.3
	10月	98.2	96.3	109.7	90.1	100.8
	11月	100.9	96.9	107.3	122.1	98.0
12月	101.3	97.4	110.2	120.5	99.5	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一産、 「コヒカリ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
17年平均	2,293	170	165	586	397	304	151	340	217	522	636	178	521
18年平均	2,256	174	184	606	426	278	161	359	217	538	630	193	502
19年平均	2,229	147	153	589	440	269	137	295	203	530	629	206	535
20年10月	2,198	138	199	665	512	259	179	264	178	565	689	209	-
11月	2,183	160	142	582	437	257	128	272	194	803	678	207	453
12月	2,208	186	132	578	545	259	137	279	184	664	699	201	428
品目 単位 年月	みかん	グレフ イル ブ ツ	オレ ンジ	いちご	バナ ナ	キ ウ フ イル ツ	緑(せ 茶ん 茶)	カ ー ネ シ ョ ン	き く	パ ラ	豚(口 肉 ス)	牛(口 肉 ス)	ま ぐ ろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
17年平均	548	291	362	156	240	723	618	155	171	306	234	792	480
18年平均	546	354	404	153	245	686	609	159	168	312	233	793	497
19年平均	689	356	509	165	258	705	602	163	170	315	221	776	506
20年10月	507	332	415	-	301	698	620	164	170	331	231	822	499
11月	465	366	408	-	279	675	610	159	172	326	236	837	484
12月	468	364	413	173	260	669	615	162	174	351	229	828	472

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 429
平成21年3月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417